

「差額ベッド料」は不要です

「謝礼」や「付け届け」は不要です

人権を守る医療・介護をめざします

保健・医療・福祉のネットワークで対応します

岡山医療生活協会の4つのこころ

かりゆし

かりゆしとは沖縄方言で「縁起がよいこと」「めでたいこと」を表す言葉です。

発行日 2019年1月1日
 発行者 岡山東中央病院
 岡山医療生活協同組合
 岡山市中区倉田677-1
 TEL 086-276-3711
 FAX 086-277-5556



あけまして

おめでとうございませす



岡山東中央病院 院長 眞鍋 良二



旧年中は岡山東中央病院を
 ご支援していただきありがとうございました。

近年、日本は少子化などで高齢化社会が到来し、一人暮らしや夫婦二人暮らしが増え、地域で住民を支える力が減少してきています。

岡山東中央病院は、岡山医療生活協の病院として医療（入院医療・在宅医療・外来医療・健診など）だけでなく、職員一同医療生活協の組合員とともに、すべての人が安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう「なんでも相談窓口」など様々な取り組みをすすめ、地域に貢献していきたいと思っています。

本年もどうぞよろしく願います。



皆さんの“困った”にお応えできる 取り組みをすすめます

岡山東中央病院 看護師長 西原 佐登美



2017年10月にスタートした地域包括ケア病床も皆さんのおかげで1年を経過し約170名以上の患者さんにご利用していただきました。入院日数が60日と限られる入院生活の中で、衣食住を中心に考える病棟での生活リハビリと、セラピストによる個々の専門的リハビリにより多くの患者さんが元気に自宅退院をされております。

中でも昨年の猛暑はとてつもなく、熱中症で倒れる方も多く、外来受診後そのまま入院をされるケースが印象に残っています。また西日本豪雨のため被災された介護の必要な方、夜間浸水の危険が高まった訪問診療の

患者さんからの「避難したいけれど動けない」の要望に応え緊急入院の受け入れなども行いました。

昨年7月から新体制として、医療福祉相談室に入院調整看護師が配置され、医療ソーシャルワーカー3名とともに日々の入院相談に係わっています。その中で新しい取り組みとして、他院からの転院依頼時は紹介元の院所へ出向いて、訪問面談を行っております。転院前に訪問を行い患者さん・ご家族と、ご紹介側スタッフの方々との顔の見える連携により今後の療養に対する不安を少しでも軽減していただければという思いで始めました。また、受け入れる側としても最新情報で適切な部屋をご準備する事ができるようになりました。ご希望があれば、介護にお困りで療養先をお探しの方のご自宅への訪問も行いますのでお気軽に相談室の方へご相談下さい。

皆さんの「困った」に応えられるような病院でありたいと日々奮闘しております。本年度も職員一同、皆さんとともに暮らしやすい地域を目指し頑張りたいと思います。

1月 外来診療表

		月	火	水	木	金	土
内科	午前 9:00~12:00	眞鍋 重見	重見	大野	大野 眞鍋	大野 西田	5日:大野 19日:眞鍋
	夜間 17:00~19:00			眞鍋			
皮膚科	午前		高橋(阿)	第2・第4火曜日 10:30~12:00 第3火曜日 9:00~12:00			
整形外科	午後 13:30~15:00				○		

※予約外のかたは、できるだけ11時までにご来院ください。
 ※お問い合わせ等は、受付または外来看護師までお願いいたします。
 1月1日(火)~3日(木)・14日(月)は休診させていただきます。



新任事務長
 ごあいさつ

事務長 冨家 朱代

前は小さかった子どもたちが今では中高生になり、時の流れを感じています。「あつてよかった」病院として今後も発展できるように、みなさんと力を合わせていきたいと思えます。見かけたら気軽に声をかけてください。よろしくお願いたします。

こんにちは。このたび10年ぶりに岡山東中央病院に戻ってまいりました。

